

水中コンクリート用 混和剤	種 別	水中不分離性 コンクリート用混和剤	商 品 名	アスカクリーン
------------------	-----	----------------------	-------	---------

信越化学は、建設業界のニーズに応じて、セルロース系混和剤に関する長年の技術を結集し、新たな水中不分離性コンクリート用混和剤「アスカクリーン」の開発に成功した。その品質と信頼性により、関西国際空港連絡橋、明石海峡大橋下部工、東京湾横断道路橋で採用されるなど数多くの実績をあげている。

#### 特 徴

●主成分：水溶性セルロースエーテル(白色粉末)

##### 1. 優れた分離低減効果

アスカクリーンを混入したコンクリートは、強い粘着を示し、水中に自由落下させてもセメント分の流出など材料分離が少なく、均質で信頼性の高いコンクリートを得ることができる。

##### 2. 水質汚濁の防止

セメント分の流出などの材料分離が少ないため、河川・港湾や海岸工事において水質汚濁を防止する。

##### 3. 十分な強度発現

材料分離による強度低下が少ないため、気中コンクリートと同等の強度が発現する。

##### 4. 流動性の改善

セルフレベリング性を有し、優れた流動性を示す。小さな隙間や、細かな配筋部にも十分充填する。また流動性の経時変化が少ない。

##### 5. 鉄筋や打継面の付着性の改善

材料分離やレイタンスの発生が非常に少ないため、鉄筋や打継面の付着性を改善する。

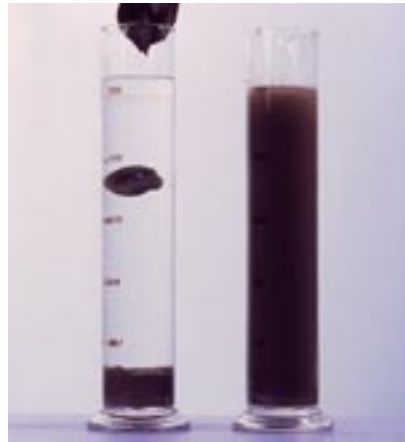
##### 6. フリージング防止

フリージングが非常に少ないため、均質なコンクリートを得ることができる。また打継部の接着性を改善する。

#### 配合例

配 合	設計 基準 (水中 強度) (N/mm <sup>2</sup> )	Gmax (mm)	ス フ ロ ー ラ ン プ (cm)	空 気 量 (%)	W/C (%)	s/a (%)	単 位 量 (kg/m <sup>3</sup> )						
							W	C	S	G	AE減水剤	流動化剤*	アスカクリーン
1	18	20	52.5	4	59	40	220	373	634	970	0.933 ℓ	7.46 ℓ	2.5
2	21	20	52.5	4	54.5	40	220	404	624	955	1.01 ℓ	8.08 ℓ	2.5

\*メラミンスルホン酸系 例U-C-150 (欄ボゾリス物産)



アスカクリーン添加  
(3kg/m<sup>3</sup>)

無添加

##### 7. 工事の簡略化と工期の短縮が図れる。

##### 8. 従来の工法では困難で制約を受けていた施工を可能にする。

薄くて広い面積にコンクリートを打設する施工  
張石の固結など水中自由落下が避けられない施工  
RC部材など高い信頼性を要求される施工  
水質汚濁防止が極力要求される施工  
間隙への充填性や付着性を要求される施工

#### 用 途

- 橋脚、橋台、基礎コンクリート
- 床版コンクリート
- 捨石、張石、補強コンクリート
- 護岸、水路などの洗堀防護、洗堀補修
- 鋼管の防食コンクリート
- 地下連続壁のコンクリート

## 信 越 化 学 工 業 株 式 会 社

本 社 東京都千代田区大手町2の6の1 (朝日生命大手町ビル) 〒100-0004 電話( 03 )3246-5261  
 大阪支店 大阪市西区江戸堀1-11-4 (日本興亜肥後橋ビル) 〒550-0002 電話( 06 )6444-8216  
 名古屋支店 名古屋市中村区名駅4の5の28 (近鉄新名古屋ビル) 〒450-0002 電話( 052 )581-0651

URL : <http://www.metolose.jp>

E-mail : [t\\_endo@shinetsu.jp](mailto:t_endo@shinetsu.jp)

建設MIL <建設資材・工法データベース>

提供：建設物価メディア(株)  
© kensetsu bukka media Inc.